

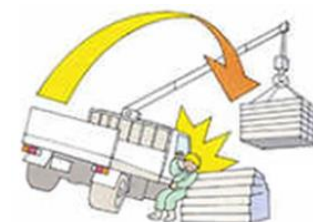
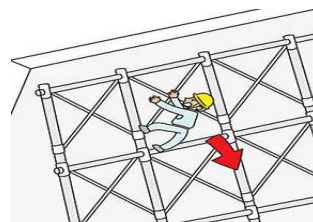
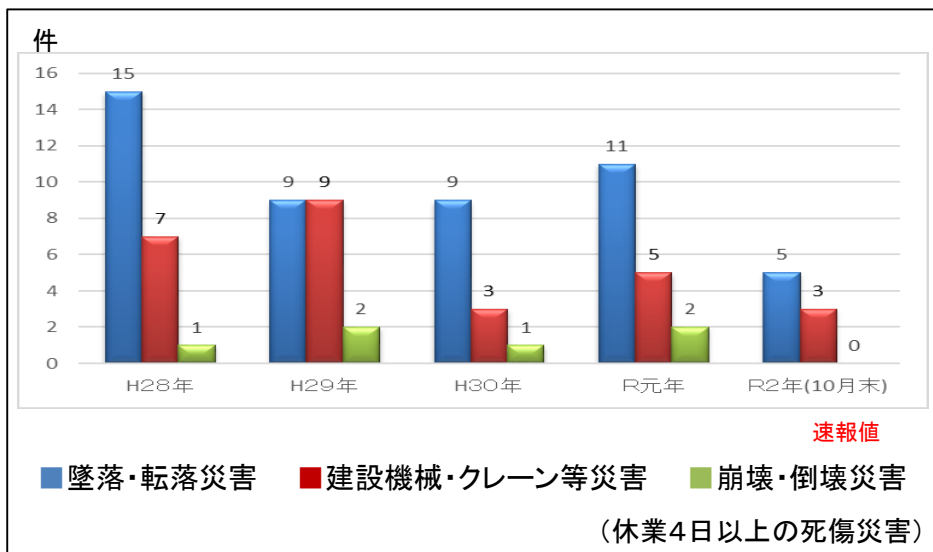
ストップ！建設業の三大災害！

岩国労働基準監督署

当署管内の建設業における労働災害は、過去5年間をみますと、三大災害(三大災害とは、「墜落・転落災害」、「建設機械・クレーン等災害」、「崩壊・倒壊災害」をいう。)が、全体の4～7割を占めています。中でも、「墜落・転落災害」が一番多く発生しているため、高所作業中の安全対策の徹底が急務となっています。また、一旦土砂が崩壊しますと、死亡災害につながる可能性が高い「崩壊・倒壊災害」が、毎年のように発生しているため、作業開始前には必ず地山の状態を点検し、土止め支保工を設置するなどの措置を講じてください。

以下に、三大災害防止の「重点実施事項」と裏面に「災害事例」をとりまとめましたので、労働災害の防止対策にご活用ください。

【当署管内の三大災害の発生状況】

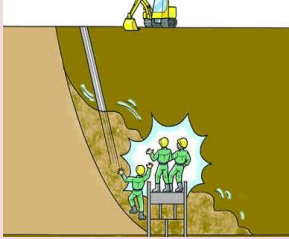


	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年10月末
墜落・転落災害	15 (0)	9 (0)	9 (1)	11 (1)	5 (0)
建設機械・クレーン等災害	7 (0)	9 (1)	3 (1)	5 (0)	3 (0)
崩壊・倒壊災害	1 (0)	2 (1)	1 (0)	2 (1)	0 (0)
合計	23 (0)	20 (2)	13 (2)	18 (2)	8 (0)
建設業災害全体	51 (1)	29 (2)	29 (2)	29 (2)	18 (1)
三大災害の占める割合	45.1%	69.0%	44.8%	62.1%	44.4%

()は死亡者数

	重点実施事項
墜落・転落災害	①安全な作業床の設置 ②足場上でその日の作業開始前に手すりなどの「足場墜落防止用設備の点検」と異常を認め時は直ちに補修することの徹底 ③各種足場では「手すり先行工法に関するガイドライン」を考慮した対策の実施 ④低層住宅建築工事等では「足場先行工法に関するガイドライン」に基づく対策の実施 ⑤高所作業時における墜落制止用器具は、原則としてフルハーネス型を使用(従来の安全帯の使用は令和4年1月1日まで)
建設機械・クレーン等災害	①各種建設機械の種類ごとの安全対策の充実 ②センサー機能による危険感知システムや転倒時における運転者の防護装置(ROPS)等の採用等、建設機械・クレーン等の本質安全化の推進 ③周辺作業員への危険体験教育等(運転席での死角の確認等)の実施 ④運転席でのシートベルトの完全着用
崩壊・倒壊災害	①小規模掘削工事での「土止め先行工法に関するガイドライン」に基づく対策の実施 ②斜面の掘削工事での「斜面崩壊による労働災害の防止対策に関するガイドライン」、「斜面の点検者に対する安全教育実施要領策定について」に基づく対策の実施

岩国労働基準監督署内での過去5年間の災害事例(抜粋)

三大災害	災害の概要
<p data-bbox="54 312 268 364">墜落・転落</p> 	<p data-bbox="358 203 1372 265">小型移動式クレーンの荷台で足場材の片付け作業をしていた際、バランスを崩し荷台から転落した。(休業3か月)</p> <p data-bbox="358 323 1386 385">梯子で地上へ降りようとしたところ、梯子を固定しておらず梯子が動いたため、危ないと思い1.5mの高さから自ら飛び降り、着地した際に転倒し、負傷した。(休業2か月)</p> <p data-bbox="358 474 1386 536">家屋の屋根上にて瓦シートを取り外す作業を行っていたところ、足を滑らせ、2.5メートルの高さから地面へ墜落した。(休業3か月)。</p> <p data-bbox="358 625 1308 687">樹木の剪定中、右足を乗せていた枝が折れ、約4mの高さから地面へ墜落した。(休業3か月)。</p> <p data-bbox="358 745 1379 808">林道の新設工事において、伐採した木の搬出作業のためドラグ・ショベルを運転していたところ、路肩が崩壊し、ドラグ・ショベルごと約35m下に墜落した(死亡)。</p>
<p data-bbox="44 928 254 1031">建設機械・クレーン等</p> 	<p data-bbox="358 872 1379 965">駐車していた小型移動式クレーンを移動させる為にエンジンをかけた時、マニュアルシフトがバックに入っていたため、後方へ動き出し、並列駐車してあった車と小型移動式クレーンとの間に挟まれた(死亡)。</p> <p data-bbox="358 1006 1365 1131">ドラグ・ショベルで掘削した深さ約2mの溝内において、作業員2名が排水管の埋戻し作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルが掘削溝内へずり落ち、それに気付いた作業員1名は溝外へ脱出したが、被災者は土砂に足を取られて動けず、バケットと鋼矢板の間に胸部を挟まれた(死亡)。</p> <p data-bbox="358 1189 1379 1282">鋼矢板打設作業中、移動式クレーンの主巻フックで吊っていたパイプロハンマーと補巻フックで吊っていた鋼矢板が接触したことにより、鋼矢板が揺れ、近くにいた被災者に鋼矢板が接触した。(休業3か月)</p> <p data-bbox="358 1340 1379 1402">ドラグ・ショベルで伐採木をつり上げていたところ、伐採木の重心がずれ、ドラグ・ショベルの近くにいた作業員に伐採木が接触した。(休業2か月)</p>
<p data-bbox="54 1549 268 1601">崩壊・倒壊</p> 	<p data-bbox="358 1493 1365 1556">下水道工事現場の掘削溝内(深さ1.6m)で土止め支保工の設置のため、被災者が溝内に降りて移動していたところ、側壁が崩落し、土砂に埋もれた(死亡)。</p> <p data-bbox="358 1649 1365 1742">道路の路面を掘り下げるため、被災者がプレーカを運転して路面の岩を砕いていたところ、プレーカの運転席側の法面(高さ約20m、全長約20m、勾配約5分)が上方から崩落し、被災者はプレーカに搭乗したまま土砂の生き埋めとなった(死亡)。</p> <p data-bbox="358 1810 1379 1935">下水配管の敷設現場において1名が溝内で作業中、側面の土砂が崩壊して埋まったため、地上にいた4名が溝内に入って救助していたところ、2度目の崩壊が発生。救助に入った4名のうち2名は避難したが、1名は土砂とともに崩壊したアスファルト片が腰に当たって負傷し、1名は土砂に埋まった【死亡2名、負傷1名(休業6か月)】。</p>